

[業界別レポート]
働く人と職場2019
－介護サービス編－

[業界別レポート] 働く人と職場 2019－介護サービス編－ とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2019」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人に調査した結果をまとめています。本レポートは介護サービスを対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。介護サービスで現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、介護サービスでの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

介護サービス業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
まとめ ―それぞれの上位5項目―	3
1. 仕事の選択理由	5
2. 仕事を継続する理由	7
3. 離職の理由／必要を感じる改善点	9
4. 意向・非意向の理由	11
【参考】 勤務時間	13

調査概要

- ・調査名 : 特定業種に関する調査2019
- ・調査目的 : 求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法 : インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間 : 2019年3月27日（水）～3月31日（日）
- ・調査対象 : 20～59歳までの男女（全国）
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は介護サービスの、計800人。

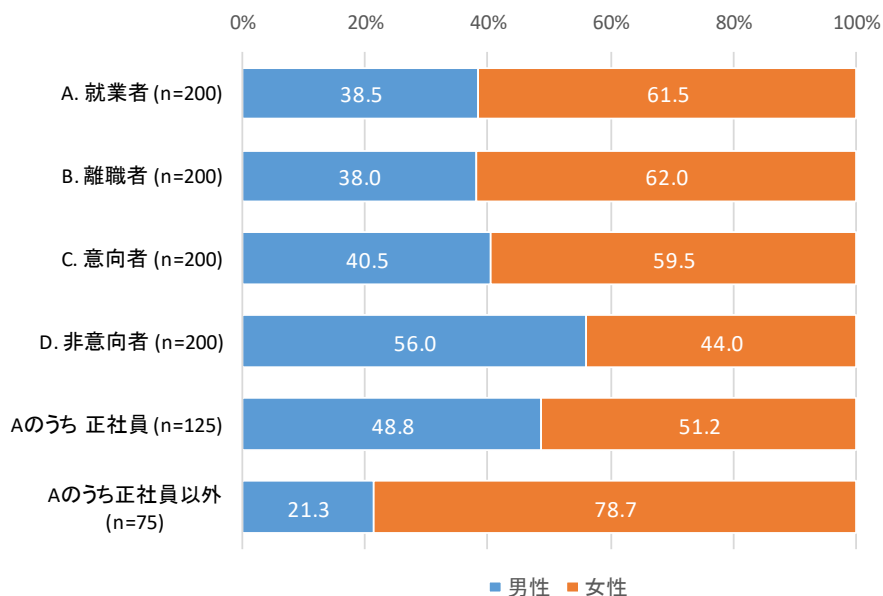
		就業経験者		就業非経験者		(人)
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア		200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売		200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200	
	居酒屋	200	200	200	200	
ホテル・旅館		200	200	200	200	
介護サービス		200	200	200	200	
ドライバー		400	400	400	400	
警備		200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け		200	200	200	200	

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

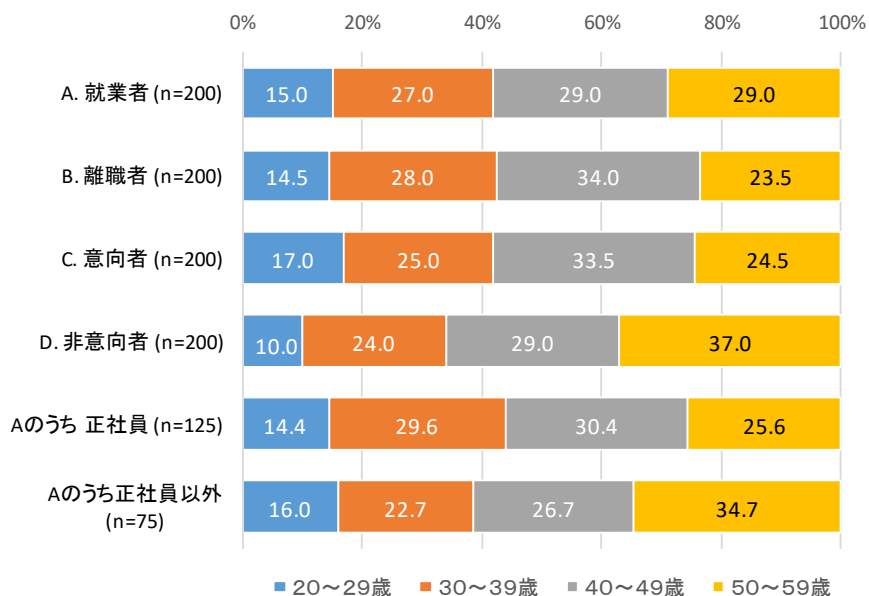
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。4つのセグメントのうち、D.非意向者以外では女性の比率が約6割となっている。A.就業者のうち正社員以外※2では女性が約8割いる。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者、B.離職者、C.意向者ではいずれも40～49歳が3割前後となっている。D.非意向者とA.就業者のうち正社員以外では、50～59歳が比較的多い。



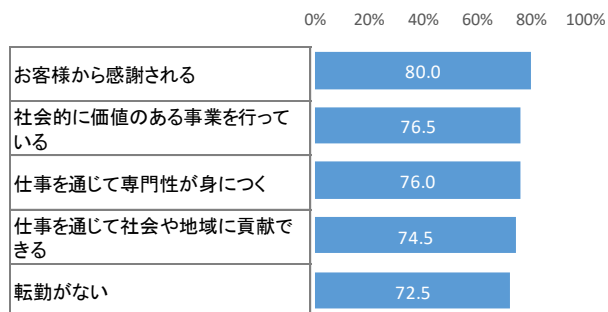
※1 自営業者などを含む。

※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち1.3%。

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 仕事の選択理由 就業者の上位5項目

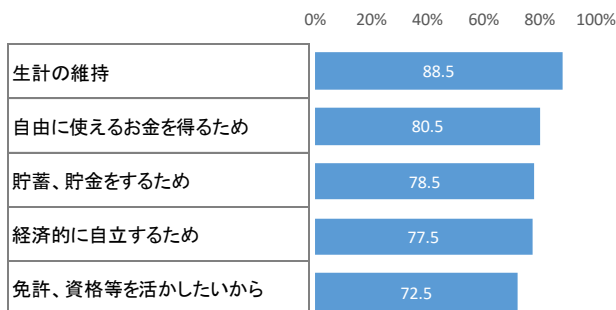
就業者が介護サービスの仕事を選んだ理由の上位は、「お客様から感謝される」「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて専門性が身につく」などとなっている。やりがいや、会社・事業への評価などが大きいと考えられる。



(%, n=200)

■ 仕事を継続する理由 就業者の上位5項目

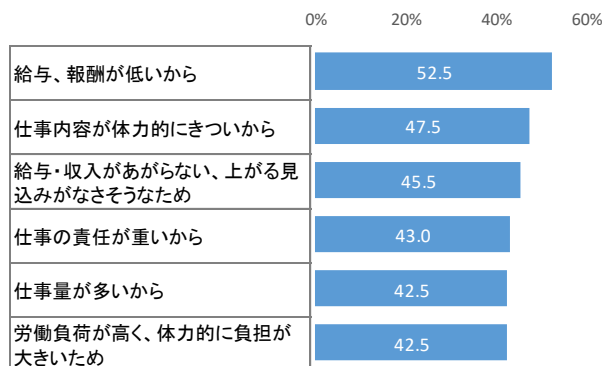
就業者に、介護サービスの仕事を続けている理由を聞くと、上位4項目は「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」などの経済的要素となった。次いで、「免許、資格等を活かしたいから」というスキル活用の面も上位に挙がっている。



(%, n=200)

■ 離職の理由 離職者の上位5項目

過去に介護サービスで働いていたが離職した人の離職理由は、「給与、報酬が低いから」などの給与面や、「仕事内容が体力的にきついから」などの労働負荷の面が上位になっている。

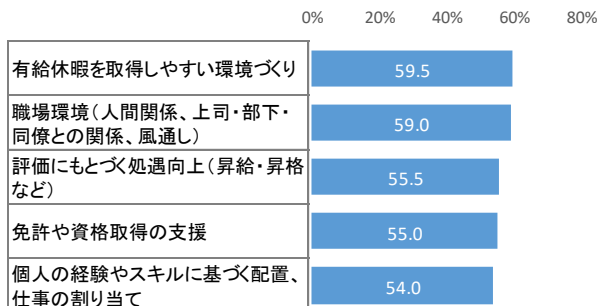


(%, n=200)

まとめ —それぞれの上位5項目—

■ 必要を感じる改善点 就業者の上位5項目

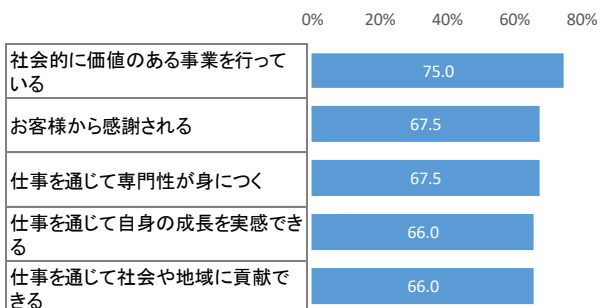
介護サービス就業者が必要を感じる改善点は、「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「職場環境（人間関係、上司・部下・同僚との関係、風通し）」など。職場環境、評価・育成、負荷削減と、幅広い項目が選ばれている。



(%, n=200)

■ 意向の理由 意向者の上位5項目

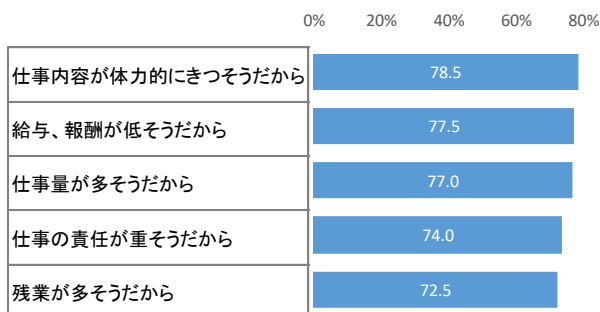
介護サービスで働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。多く挙げられたのは、会社・事業への評価について「社会的に価値のある事業を行っている」、やりがいについて「お客様から感謝される」、キャリア形成・評価について「仕事を通じて専門性が身につく」などである。



(%, n=200)

■ 非意向の理由 非意向者の上位5項目

介護サービスで働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。もっとも大きな理由となっているのは労働負荷で、「仕事内容が体力的にきつそうだから」や「仕事量が多そうだから」が上位となっている。また、「給与、報酬が低そうだから」という不安も大きい。



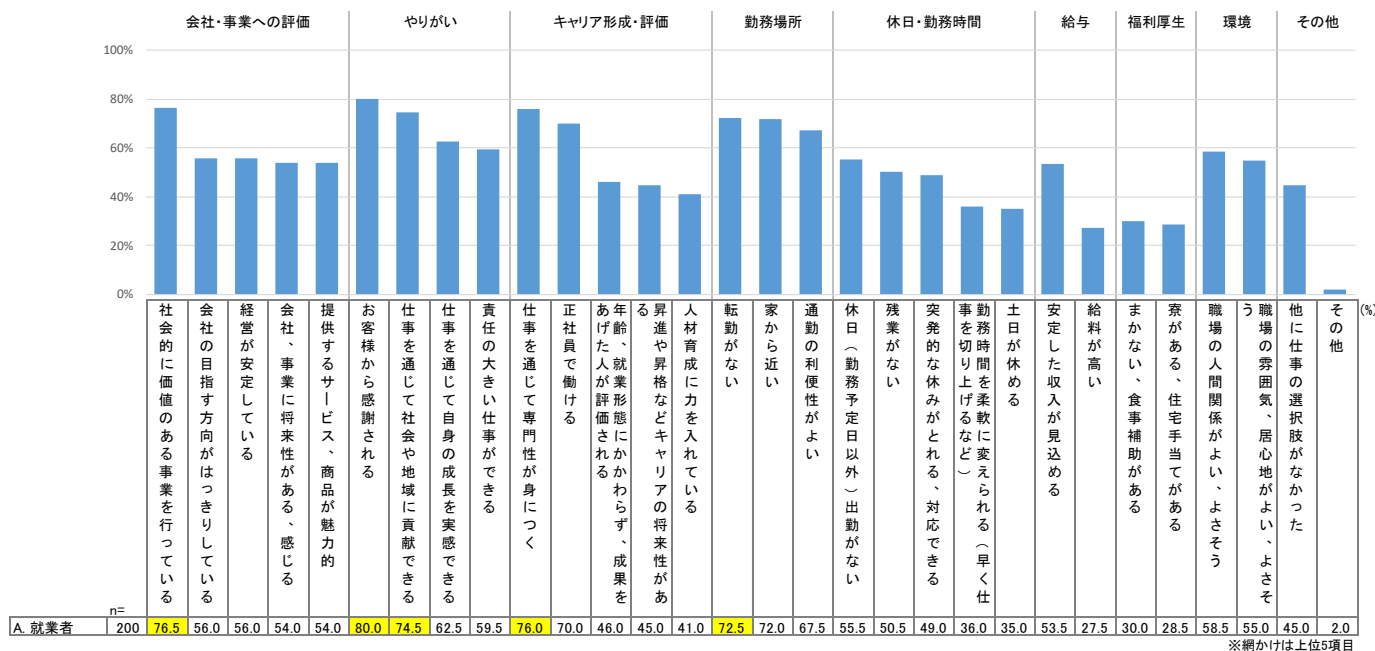
(%, n=200)

1. 仕事の選択理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

現在介護サービスで働いている就業者に対して、その仕事を選んだ理由は何か聞いた。

就業者が介護サービスの仕事を選んだ理由の上位は、「お客様から感謝される」「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて専門性が身につく」などとなっている。やりがいや、会社・事業への評価、キャリア形成・評価の面が大きいと考えられる。「転勤がない」も7割を超える。

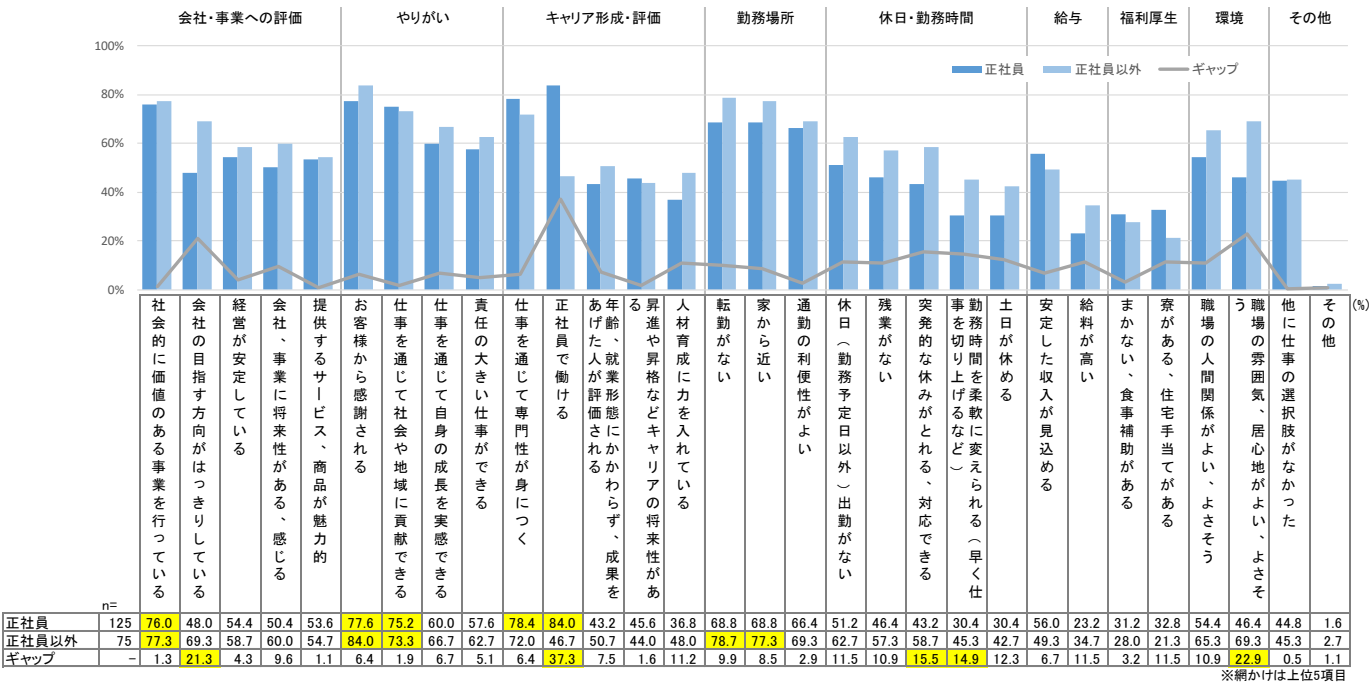


【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。
（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

1. 仕事の選択理由

介護サービスの仕事を選んだ理由について、A. 就業者を正社員と正社員以外で分けて見てみよう。
両者ともに「お客様から感謝される」「社会的に価値のある事業を行っている」「仕事を通じて社会や地域に貢献できる」が上位になっている。その他に、正社員は「正社員で働ける」「仕事を通じて専門性が身につく」というキャリア面、正社員以外は「転勤がない」「家から近い」という場所の面も上位になっている。
ギャップがもっとも大きい項目は、「正社員で働ける」で正社員の方が高い。休日・勤務時間については非正社員の方が割合が高い。

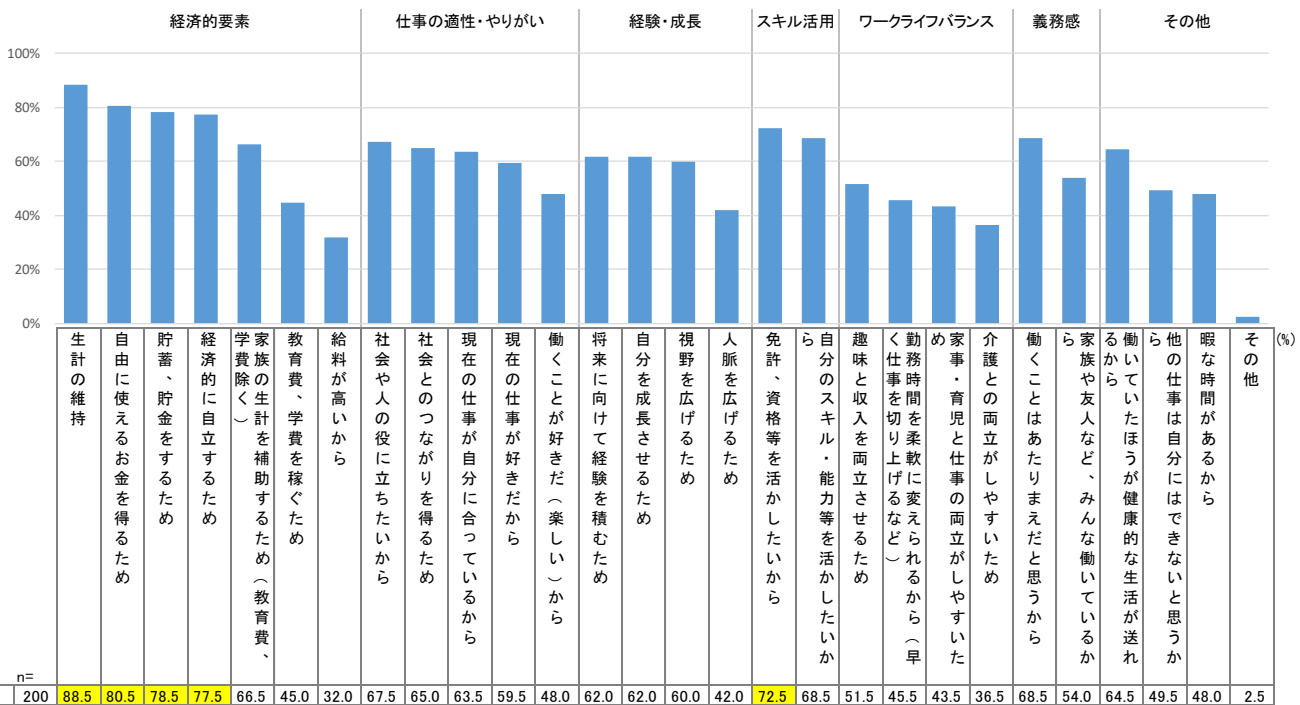


【A. 就業者】
Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。
（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

就業者に、介護サービスの仕事を続けている理由を聞くと、上位4項目は「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」「貯蓄、貯金をするため」「経済的に自立するため」という経済的要素となった。次いで、「免許、資格等を活かしたいから」というスキル活用の面も上位に挙がっている。ワークライフバランスに関する項目は、全体的にあまり高くないと言えるだろう。



[A. 就業者]

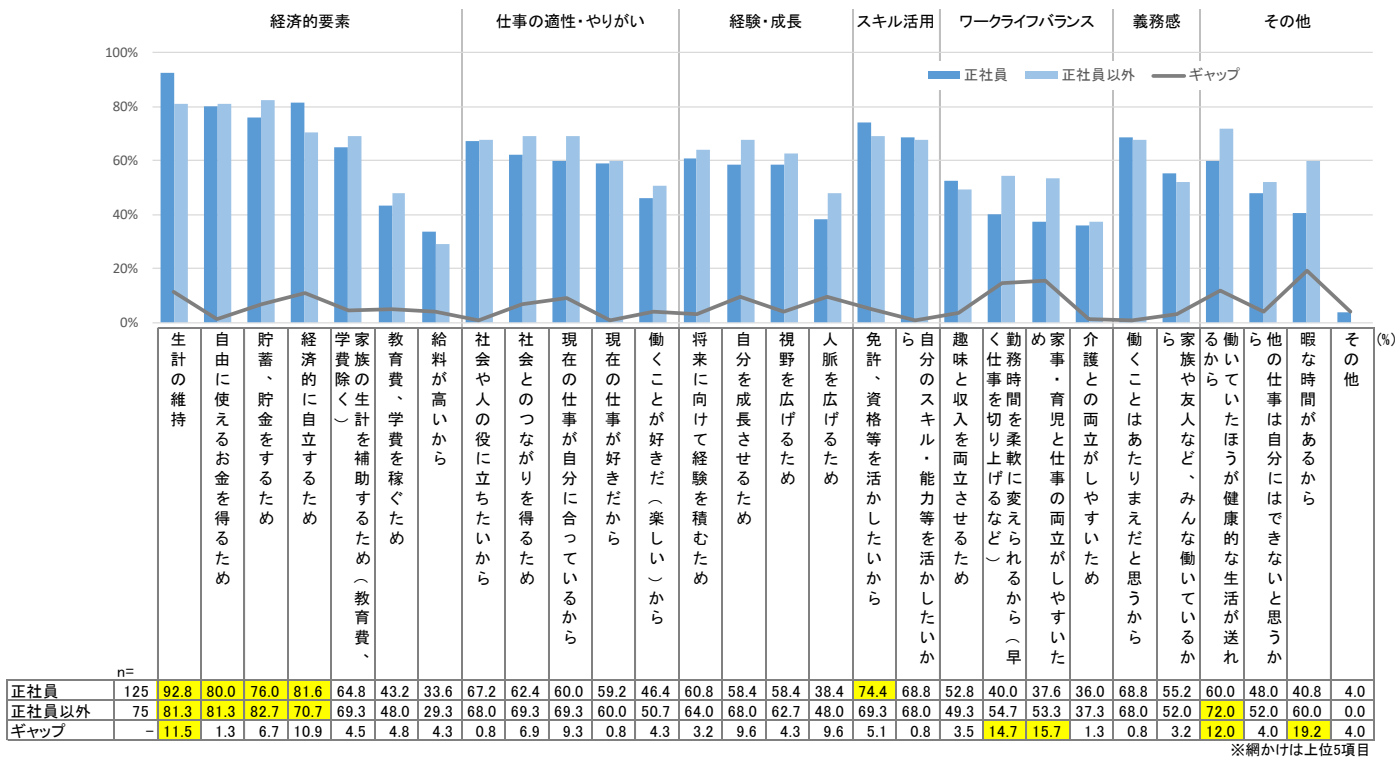
Q. あなたが現在、「介護サービスの仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。
 （「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

介護サービスで働き続ける理由について、A. 就業者を正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。（※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。）

まず、正社員も正社員以外も、もっとも割合が高いのは経済的要素となる。それに加えて、正社員では「免許・資格等を活かしたいから」というスキル活用の面、正社員以外では「働いていたほうが健康的な生活が送れるから」が挙げられている。これは、正社員以外では正社員よりも50～59歳の割合が高いこととも関わりがあると推測される。

両者のギャップが大きい項目を見ると、正社員以外の方が「勤務時間を柔軟に変えられるから（早く仕事を切り上げるなど）」「家事・育児と仕事の両立がしやすいため」の割合が高いことがわかる。



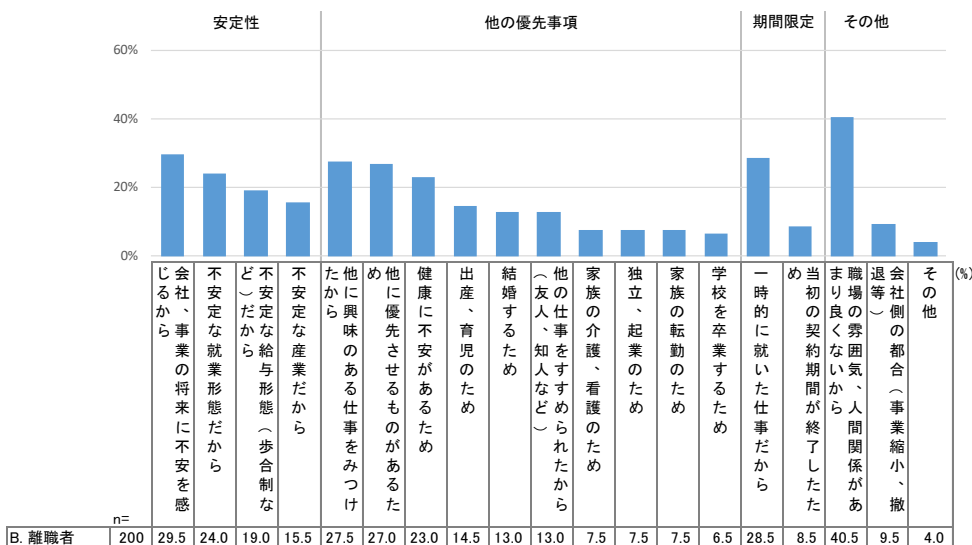
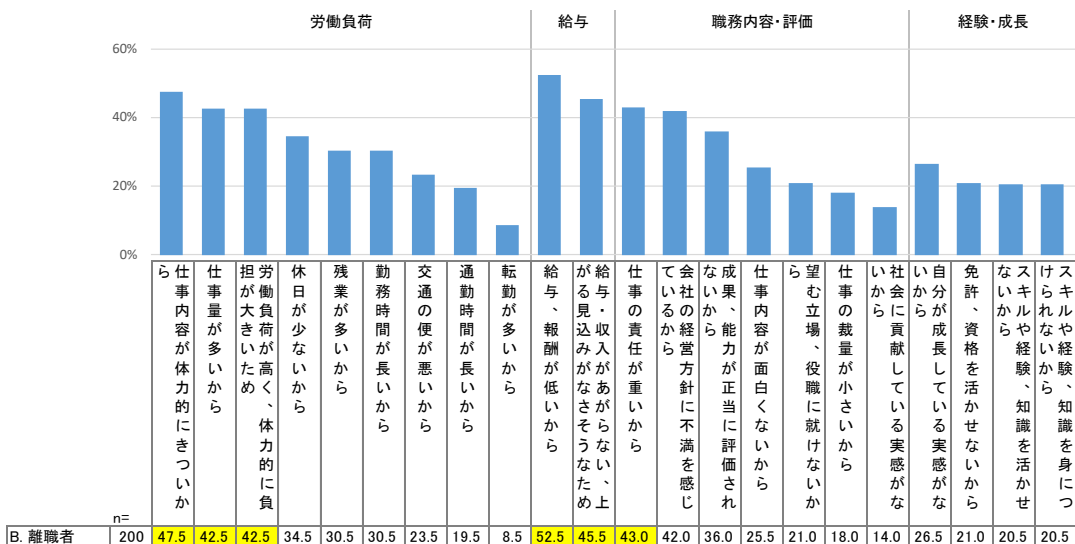
【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「介護サービスの仕事」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

B. 離職者／A. 就業者

過去に介護サービスで働いていたが離職した人の離職理由は、「給与、報酬が低いから」などの給与面や、「仕事内容が体力的にきついから」などの労働負荷の面が上位になっている。



※網かけは上位5項目

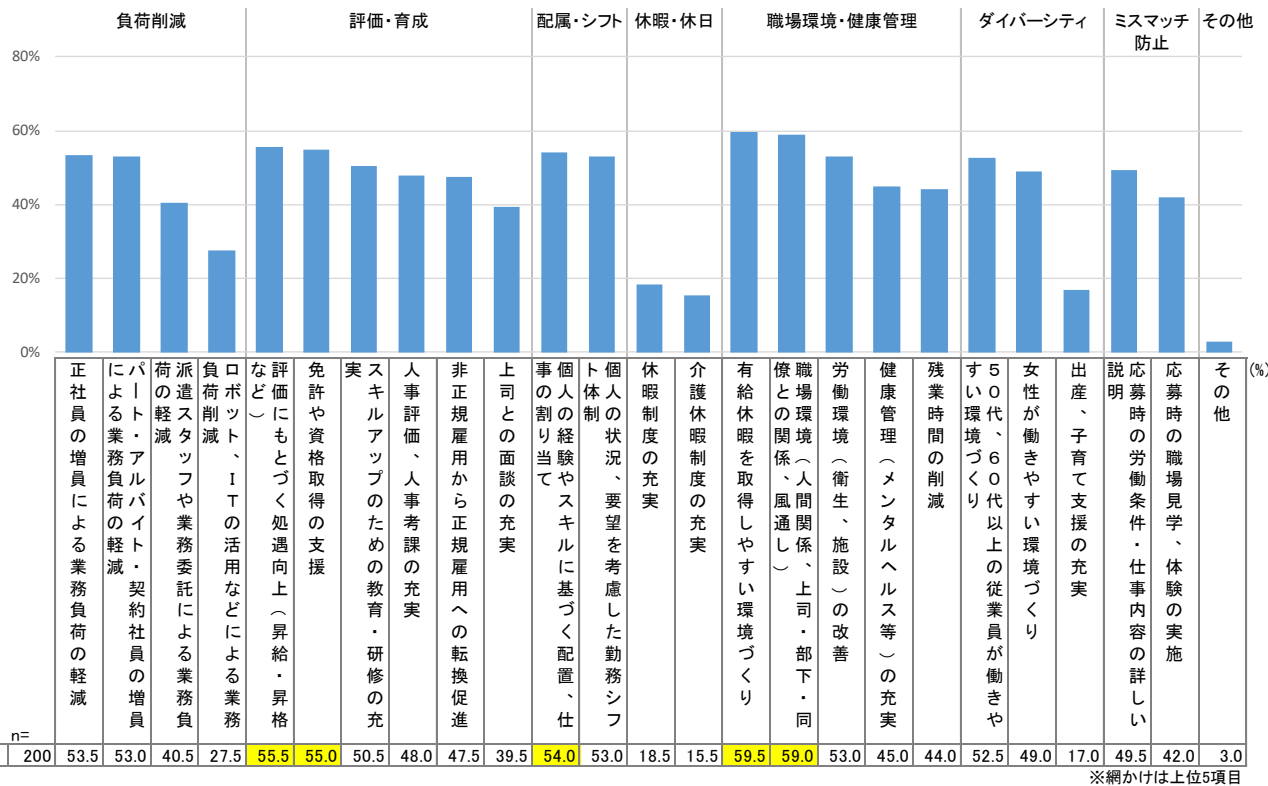
【B. 離職者】

Q. あなたが以前、「介護サービスの仕事」で働いていたにもかかわらず離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

介護サービス就業者が必要を感じる改善点は、「有給休暇を取得しやすい環境づくり」「職場環境（人間関係、上司・部下・同僚との関係、風通し）」「評価にもとづく処遇向上（昇給・昇格など）」「免許や資格取得の支援」「個人の経験やスキルに基づく配置、仕事の割り当て」など。職場環境・健康管理、評価・育成、配属・シフト、負荷削減など、幅広い項目が選ばれている。

＜必要を感じる改善点＞



※網かけは上位5項目

【A. 就業者】

Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われますか。（「非常に必要」「必要」の割合）

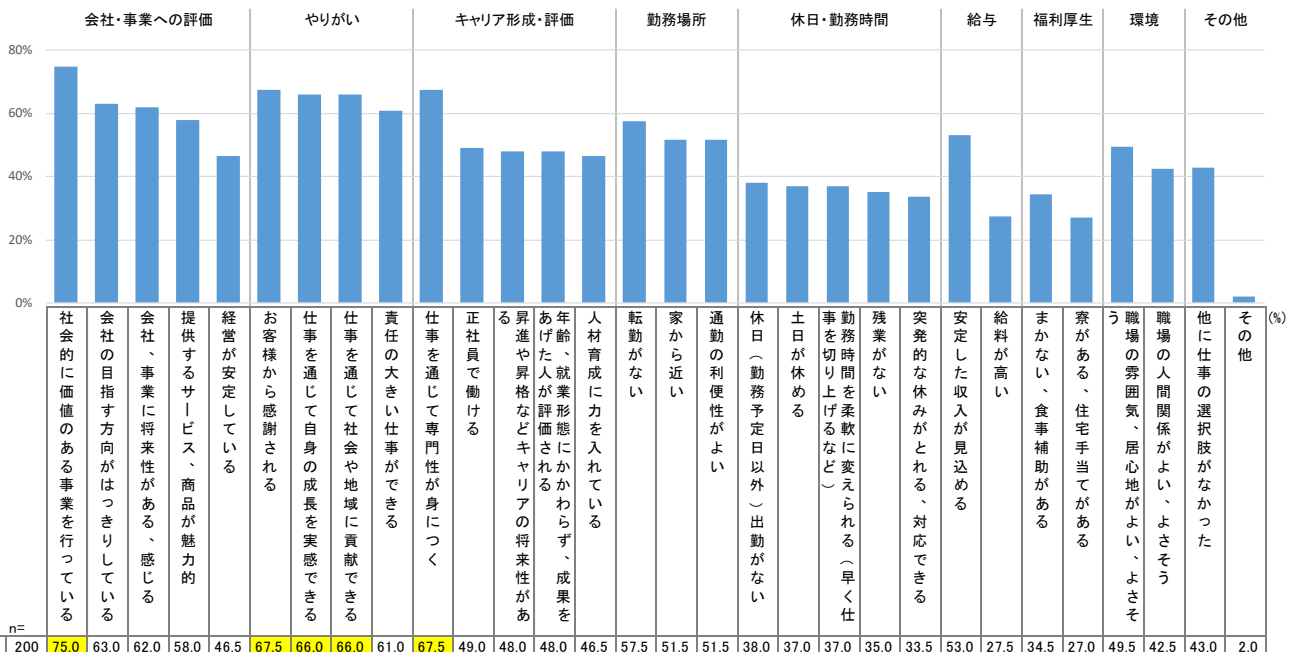
4. 意向・非意向の理由

C. 意向者／D. 非意向者

これまでに介護サービスで働いたことはないが働いてみたいという意向者に、その理由を聞いた。

多く挙げられたのは、会社・事業への評価について「社会的に価値のある事業を行っている」、やりがいについて「お客様から感謝される」、キャリア形成・評価について「仕事を通じて専門性が身につく」などである。意向者が感じているよいイメージは、介護サービスで働いている就業者が現在の仕事を選んだ理由とも共通していると言えるだろう。

<意向の理由>



【C. 意向者】

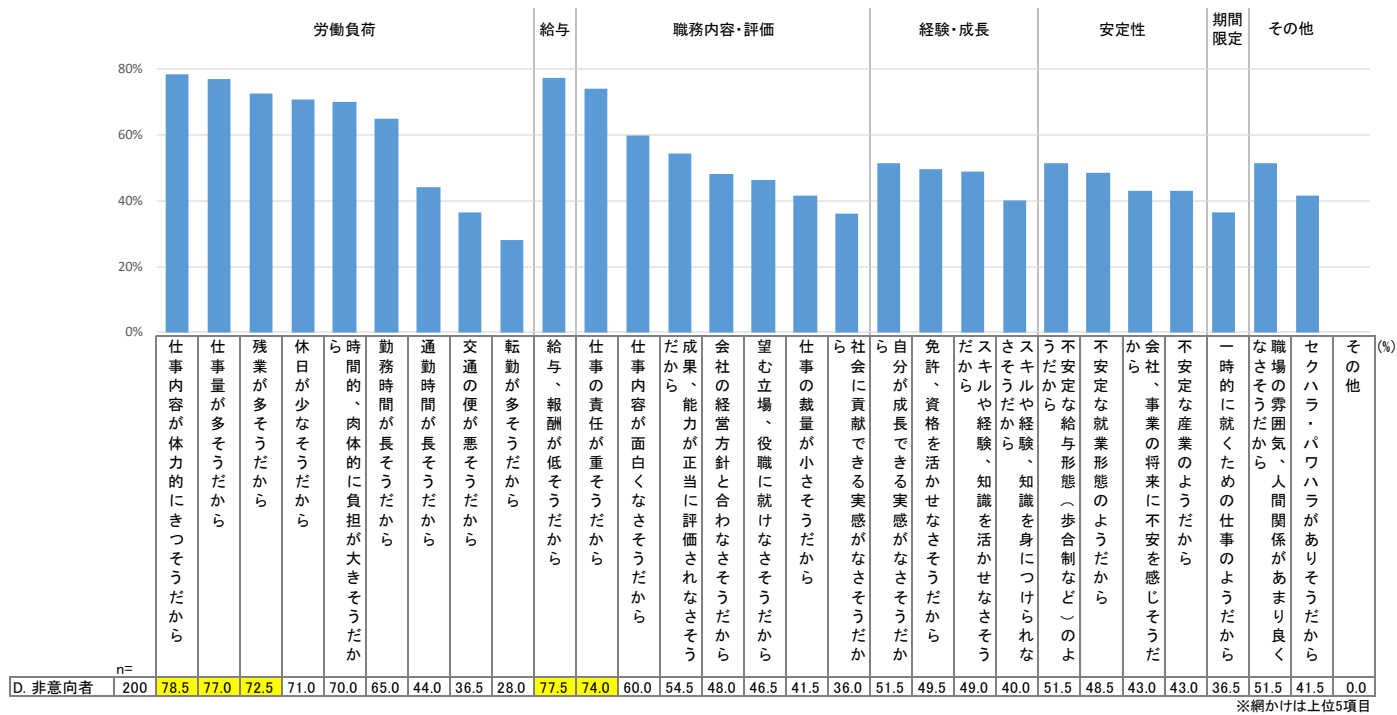
Q. あなたが、「介護サービスの仕事」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

4. 意向・非意向の理由

介護サービスで働いたことはなく、これからも働きたくないという非意向者にその理由を聞いた。

大きな理由となっているのは労働負荷で、「仕事内容が体力的にきつそうだから」や「仕事量が多そうだから」「残業が多そうだから」が上位となっている。また、「給与、報酬が低そうだから」という不安も大きい。非意向者が感じている不安は、離職者の離職理由とも共通していると言えるだろう。

<非意向の理由>



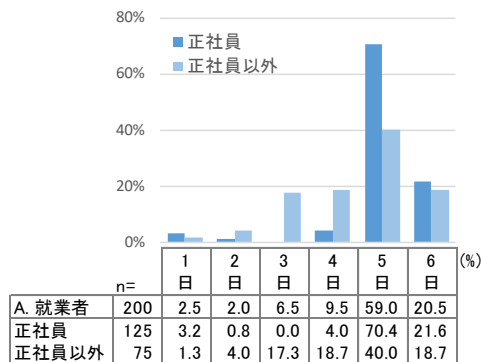
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「介護サービスの仕事」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

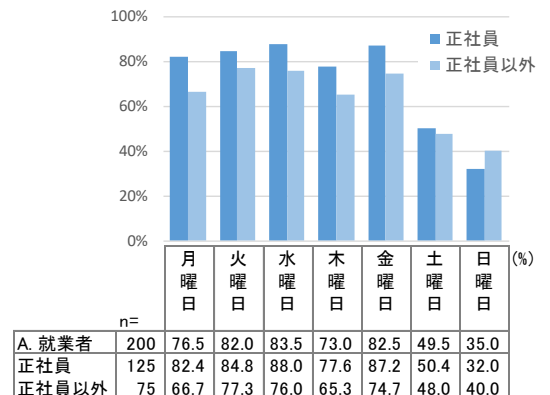
【参考】 勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

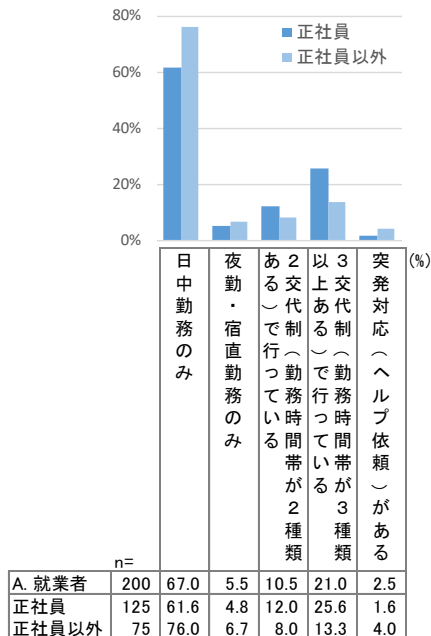
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



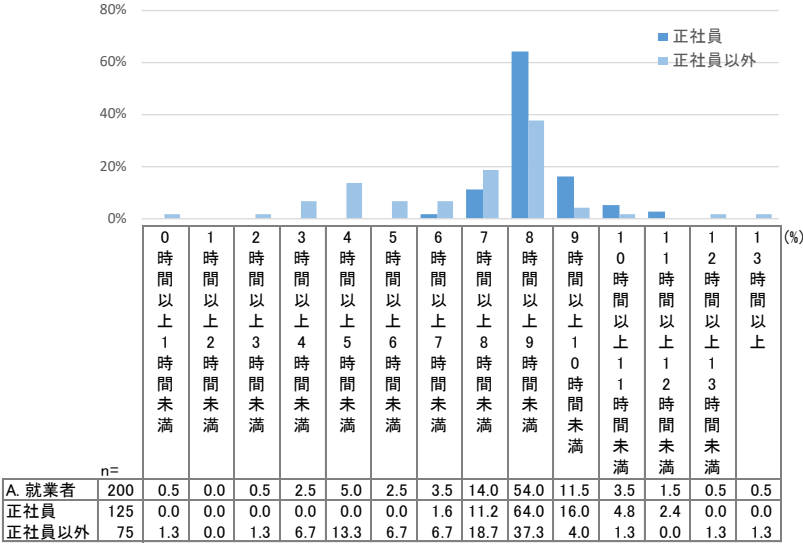
■ 勤務時間帯



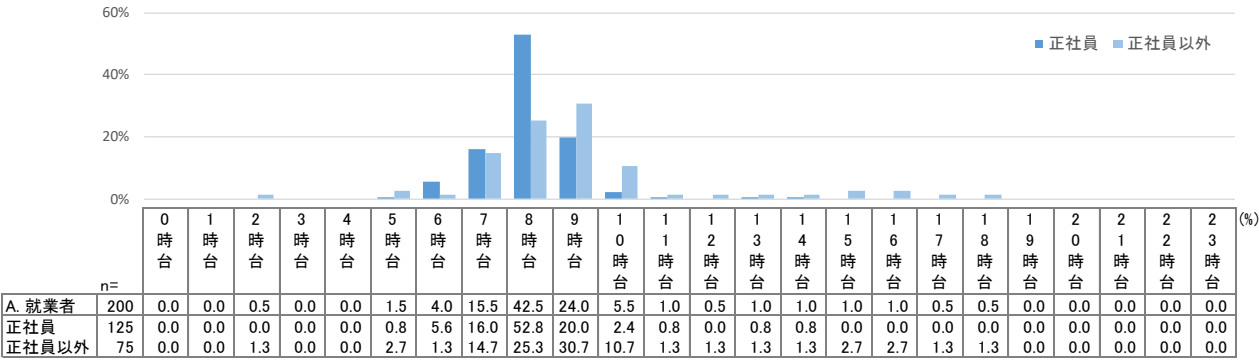
【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務日数をお知らせください。(数値回答)
- Q. あなたご自身の代表的な(よくある)1週間の勤務曜日をお知らせください。(複数回答)
- Q. あなたの勤務の時間帯であてはまるものをお知らせください。(複数回答)

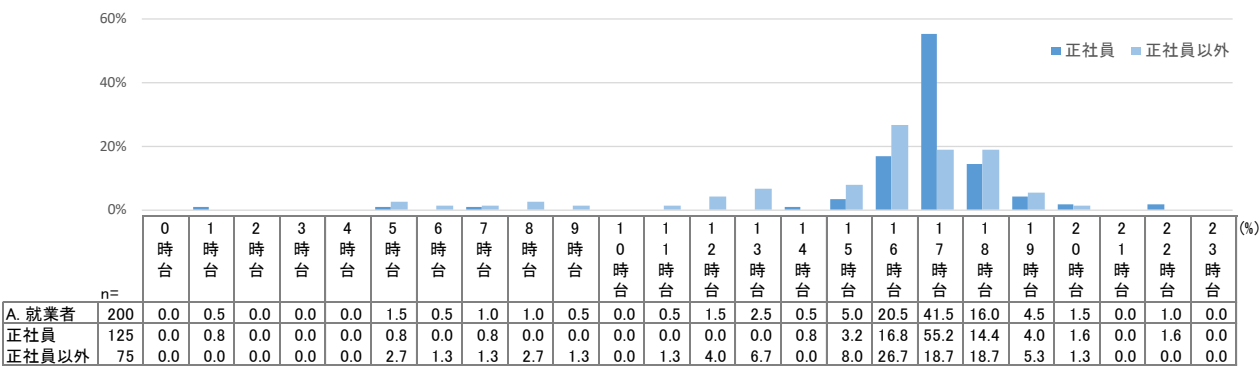
■ 1日あたりの
平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（数値回答）
- Q. あなたの勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に3パターンを記入してください。／パターン1（数値回答）